

事業番号

2023 - 官房 - 22 - 0022

令和5年度行政事業レビューシート

( 内閣官房 )

事業名	船舶活用医療推進経費			担当部局庁	内閣官房副長官補	作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	船舶活用医療推進本部設立準備室	参事官 藤原 俊之	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する法律(令和3年6月18日法律第79号)			関係する 計画、通知等	中央防災会議決定「令和5年度総合防災訓練大綱」、中央防災会議幹事会決定「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」、中央防災会議幹事会決定「首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画」、中央防災会議幹事会決定「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における具体的な応急対策活動に関する計画」		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する法律(令和3年6月18日法律第79号。以下「法」という。)に基づき、災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の在り方の検討等を推進する。						
現状・課題 (5行程度以内)	災害が発生した時又は感染症が発生し若しくは蔓延し、若しくはそのおそれがある時(以下「災害時等」という。)に、ライフライン停止等によって医療機能が麻痺した陸上医療機関を補完する手段として、船舶を活用した海からのアプローチによる医療提供体制を整備する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	<p>○ 船舶を活用した災害医療活動のフィージビリティを検証するため、自衛隊艦艇等を活用した実動訓練等を実施し、具体的な推進方針等を調査検討する。</p> <p>○ 船舶を活用した災害医療活動を行うことのできる民間事業者等と連携する仕組みを検討・構築するための調査事業を行う。</p> <p>※令和4年度第2次補正予算より予算計上省庁が内閣官房に変更(令和4年度当初予算までは内閣府所管。)</p> <p>事業名: 南海トラフの巨大地震及び首都直下地震に関する応急対策活動の具体計画策定等検討経費(民間船舶を活用した医療機能の実証訓練経費)</p>						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	25.2	57.3	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	57.3	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	25.2	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲25.2	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	181.3	115.6
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	内閣官房共通費	-	-	重要政策推進枠: 27百万円		
	(目)	重要政策基礎調査委託費	97.1	113.6			
	(目)	職員旅費	1.7	1.9			
		その他	▲0	-			
	計(A)	98.8	115.6				

活動内容① (アクティビティ)	災害時等に、船舶を活用した海からのアプローチによる医療の提供について、実証訓練を通じ課題等を明らかにし、これを解決する。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	船舶を活用した実証訓練の実施	実証訓練の実施回数	活動実績	回	-	-	-	-	-
			当初見込み	回	-	-	-	2	1
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業は、実証訓練を積み重ねていくことで、災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の在り方の検討等を推進することを目的としているため。							
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定量的なアウトカムに 関する成果実績	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	災害時等には、膨大な数の負傷者の発生等により医療ニーズが増大することが想定される。このため、災害時等の医療機能等の拡充、陸上の医療施設を補完する方策の一つとして、政府艦船や民間船舶などの既存船舶を活用した医療活動の実証訓練を、関係府省庁及び医療機関等と連携して実施するところである。本事業は実証訓練を積み重ねていくことで、災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の在り方の検討等を推進することを目的としている。したがって、このような事業の性格に鑑み、期間設定の上で定量的な目標を設定する類の事業ではなく、継続的実施が必要な事業であることから定量的指標の設定は困難である。								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
	本事業は、継続的実施が必要な事業であることから、アウトカムを複数設定することは困難である。								



令和3年度	2021	府	20	0064															
令和4年度	2022	府	21	0060		2022	官房	新22	0004										

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

